



個人投資家のための投資レポート

個人投資家の失敗から学ぶ

～ 株式投資・先物取引で成功する極意 ～



“あなたはこのEブックを自由に配布できます。”

この E ブックは株式取引や先物取引、FX取引に真面目に取り組んでいる個人投資家のために公開したものです。そのため、この E ブックはあなたと同様に真剣にトレードを学ぼうとしているご友人・知人に自由に配布して頂いて結構です。

たった一つできないのはこの E ブックを編集することです。それは禁止です。それ以外にはご友人・知人への転送、サイトやブログでの無料配布、閲覧、またあなたが個人投資家の学習・研究・知識の習得を目的とした投資関連商品の公開・提供を行っている場合にはその商品の特典等として自由に利用して頂いてかまいません。

(著作権は日本株短期売買研究会が所有しています。)

日本株短期売買研究会 <http://www.ladvantage.info/>

個人投資家のための「日本株短期売買研究会」は“努力家で真面目な個人投資家には相場で儲ける権利がある。”を理念とし、株式マーケットにおいてハード・ソフト両面で不利な立場にたつ個人投資家が、生涯にわたり着実に利益を積み重ねて資産を形成するための実戦的なトレード理論やトレード手法を構築するとともに、その理論や手法を共有・公開しています。

当会では日々の溢れる情報に惑わされることなく、トレードに必要な知識を学び、覚えるべき事を覚えて、自らトレードを行うことにより、生涯にわたる堅実な資産形成が可能になると考えています。

“愚者は自分の経験から学び、賢者は他者の経験から学ぶ。”

株式投資で成功するには自らの経験から学ぶことも大切ですが、投資の初心者や中級者は他者の失敗を分析し、無駄な失敗を回避することも必要です。

ただし、相場において投資家は自らの成功談は吹聴しますが、なかなか自分の失敗は他人に話したがりません。そのため、他者の失敗を自らの投資活動に活かす機会が少ないのが現状です。

そこで本レポートは数年をかけて実在する個人投資家の方からご寄稿頂いた「貴重な失敗談」をまとめたものです。愚者は自分の経験から学び、賢者は他者の経験から学ぶといいます。彼らの失敗を学ぶことにより、あなたがこれから直面するかもしれない大きなリスクを回避し、不要な失敗を避けることができます。

本レポートで述べられている先輩個人投資家の失敗談から学び、なぜ彼らが失敗したのか、その原因を自分なりに考え、彼らと同じ轍を踏まぬように注意して今後の投資活動を行ないましょう。

※個人情報や特定の固有名詞は伏字にしています。

●飛び付き買い

(横浜市 白帯トレーダーさんの失敗談)

「以前はデイトレードで勢いに乗ろうとして飛びつき買いばかりやってましたが、それではいくらお金があっても足りないので、今はもっと静かな売買を心がけています。

もう少し具体的には、チャートのダブルボトムであったり上昇中の押し目であったりなどとにかく「下げ止まり」と「上げる兆候」を感じたらしばらく「1日～2週間ほど」様子を監視します。そして「下げ止まり」がほぼ確認できたら相対的に「出来高」と「値動き」の小さいうちに試し買いをして、ブレイクアウトや新高値更新などがあつたら買い増しを検討します。

最近思うのはこの「監視」が非常に大切ではないかということです。

これによって狙った銘柄のクセを見ることが出来ますし、値動きと予測の比較も出来ます。

もちろん、様子見の間にヒュッと上がって手が出せなくなるものもありますが、飛びつきで後悔するよりマシですし、マーケットにはチャンスはいくらでもあるので気にしないようになりました。

まだまだ勉強中で利益が出せるようにはなっていませんが、損が極端に少なくなり、少しずつ「勘」が働くようになってきました。

失敗例

1)一番大きな損失を出したのが1/26「ライブドアオート」のデイトレードでした。

「ライブドア」社長逮捕で暴落→前日あたりから値段がつく(それまでストップ安で不出来)→当日寄付で買い→10分ほど停滞→落下開始→損切り。

なんと1取引で総資産の6%も飛ばしてしまいました。

今にして思えば下げ止まってもいけないのに勝手に底だと思い込み、リバウンド狙いなのに損きりがルーズであったというあまりに下手な売買でした。

2)1/24「真柄建設」。

数日前から仕手化(?)したようで、勢いに乗ろうと寄り付き付近で買い→すでに買い勢力がなくなり暴落→損切り。

日足を確認すると、その日が天井の大陰線。

流れに乗り遅れた上に損切りも遅くなって大ダメージでした。

この他にもたくさん失敗はありますが、いずれも「高値掴み、高値放し」を狙うつもりが「天井飛びつき、底値投げ」になってしまったものばかりです。

焦って買った後に暴落した銘柄、狼狽して売ったあとにあがった銘柄は数知れません。

ちゃんと勉強してみると「こんなところでよく買ったな！」という売買ばかりですが、「上がったらもっと上がる！」としか考えてなかったもので、怖いもの知らずな売買を積み重ねていました。」

個人投資家へのひと言アドバイス

飛び付き買いは高値掴みのリスクが大きくなります。トレードルールのない売買を行なってはいけません。

●リスク管理の大切さと難しさ

(岡山市 ゴリ3さんの失敗談)

「平成7年1月から株式投資を始めました。最初の取引ではビギナーズラックで利益ができました。次に買う銘柄を検討していたところ、証券会社の担当営業マンから電話がかかってきました。「次の銘柄はどうしますか」ということだったので、「東芝ケミカルにしようかと考えていますがどうでしょうか」と聞いてみました。その営業マンは「東芝ケミカルもいいと思いますが、ティアックはどうでしょうか。いま会社のほうで買ってあるのがあるんですが。」というような言い方だったと記憶しています。

そのあと続けてティアックの業務内容や業績がどうのといった四季報に載ってあることを喋っていたと思います。当時は何も知らない状況であったし、自分にとって証券会社は敷居が高い感じがしていました。そこで証券会社の担当営業マンにも大して売買するわけでもないのにと気を使っていました。また前の取引で利益が出たこともあり、考えることなく(自分で調べもせずに)ティアック買付にOKしました。

このときティアックを買ってしまったことが、その後長い間株式市場から撤退することになりました。平成7年11月にティアックを時価800円前後で2000株購入したのが最初で、このころがピークだったようです。早めに損切りすることを知らないため、またいつか株価は戻すだろうと考えているのか、放置した状態でした。その後ナンピン買いをしました。5000株が塩漬け株になっていました。その後は仕事を変ったこともあって、株式市場から5年間ほど撤退していました。株のこともすっかり忘れるぐらいでした。平成14年には170円あたりに低迷していました。このときに5000株追加で購入しています。しかし平成15年3月になると110円あたりまで下がりました。正直やばいと思いましたが、このとき9000株ほど買っていました。平均購入単価が約230円になっていました。

平成16年4月に株価が230円を超えたところで、全株処分できました。

平成16年からは残った資金をすべてマツダに投資し、好調な相場のおかげで17年前半までに100万円の利益ができました。

(このときも買ってすぐに株価は下がり始め、含み損を抱えていました)

平成17年11月には信用取引を始めました。

このころ”トレード教材〇〇”について知り、CD-ROMを購入しました。

年末年始の休みの間に、基礎編と実戦編を一通り目を通して勉強しました。

株式投資の初心者にとって内容は充実しており、知らないことばかりで、勉強になりました。また一回の勉強で頭に入る内容や量ではないので、繰り返し勉強していこうと思っていました。

平成17年11月ごろの底値で買い始めたニイウスが、年末から年始にかけて株価が大きく上昇しました。

信用取引のレバレッジをいっぱいまで使い、資産評価が投資金額の倍の1440万円になっていました。翌日1月17日のライブドアショックでは17.5%の資産が減りました。この日は損切の逆指値を入れておいたんですが、売圧力が大きく暴落したため、指値を超えて下げていました。

携帯で確認したときは約定しておらず、一瞬何が起こったか分からず、焦りました。

また”終わった、追証がすごいことになる”と思いました。

その数分後から大引けにかけて大幅な買戻しがあり、逆指値が約定し、追証を逃れることができました。

ライブドアショックの時点では大きく損失を出したというよりも、含み益が大きく減ったと考えていたのが後々まずかったと思います。

ライブドアショック後に、大きく下げたので”押し目買い”と思い買ったとたんに余震により、また大きく下げて損を膨らませていました。

二次災害の方が大きく損をしたと思います。

2月13日の週と翌20日の週は相場崩壊と思える恐ろしい下げでした。

この前に株価がLDショック後より2500円も下げていたのでURBANを400株購入していました。

近日の決算発表でも業績は予定どおりで問題はありませんでした。

しかしながら、日銀の金融緩和政策解除の思惑から、株価は連日 Stop 安となりました。また株式分割を間近に控えての信用買い残の整理があったようです。

信用建て玉の代用証券はニイウス株を使い、二階建てをしていました。

この頃は小型低位株の下げがきつく、安全と思い込んでいたニイウスが大きく下げたときは、慌てました。このときは追証を逃れることだけを考えて建て玉を処分していきましたが、全ての建て玉を処分せず、(また株価は戻すだろうの危険な考えから)含み損を抱えたまま残していました。しかしながら畳み掛ける暴落により、評価損が過大なものとなり、現物の代用証券も処分しないと追証は逃れられない状況になりました。そのため大きく損失を確定させることになり、決済損は現金がないため、借金して支払いしました。

そして資産評価額は700万円と年初の半分以下になりました。(暴落時に追証を逃れるために損切りしているときは、資産残高はほとんど残らないのではないかと思えました。)2月は週末と週明け月曜日は仕事をしていてもマーケットが気になり、大きく下げたたびに恐怖を覚えるような感覚がありました。

また気分が悪くなったりする日が続きました。

振り返って反省してみると、信用取引を始めたばかりであるのにレバレッジを大きくとり過ぎていました。

また昨年までの強い相場が続いていると思っていたのか、十分下げたと思って買いにいったところに、大きく下げられて損失が追加されていったと思います。

そして週末に大きく下げたとき、損切せずに評価損を抱えたまま週をまたいだため、NYの下げの影響をまともに受けて月曜日に暴落している最中に処分売りするはめになったことが大きかったと思います。

後の祭りですが、週末までに処分して現金で持つようにするべきでした。リスク管理の大切さと難しさを思い知らされました。」

個人投資家へのひと言アドバイス

**信用口座を開設してもトレード経験が浅い期間にはレバレッジを大きく効かせず
預入資金内でトレードすべきです。**

●ナンピン

(埼玉県 松〇さんの失敗談)

「投資暦は6年程です 初めは買った銘柄が下がった時は塩漬けでトレードしていました

一番の失敗例は某銀行株です

確か2001年当時だったと思いますが 5000株ほど(平均300円)購入後、株価が下がるたびにナンピンするも(最終的には15000株程)最後は50円程まで下落、結局大分戻したところで全株売りましたこの時の損失は100万程で済みましたが2年程トレードが出来なくなってしまったのは大変痛かったです。

この時の事を肝に銘じていたはずですが、今年のLDショックの時も同じ事を繰り返してしまいました損切りが巧く出来ずに含み損を抱えてしまいました。

頭では判っているのに. . . .」

個人投資家への一言アドバイス

株式や先物の短期トレードではナンピンを行なってはいけません。

●操作ミス

(北九州市 VICTORYさんの失敗談)

「私は、株式投資を始めて約1年になります。以前は自己流で、長大陽線の出た翌日に前場の成り行きで買うようなムチャクチャなことをしていました。それでも一応ロスカットはしていました。ある日、買い約定して、少し値上がりしてすぐに急落したのですが、ロスカットを設定しているから損失もわずかだと安心していました。でも、売り約定の通知がいつまでたっても来ません。そこでパソコンの画面を見て驚きました。ロスカット値を入力して「次へ進む」ボタンは押したのですが、なんと、肝心のロスカット注文の「注文ボタン」を押し忘れていたのです！損失が、当初予定の5倍にもなってしまいました。トホホ…みずほ証券に勝るとも劣らない基本的大ミスです。また、押し目ねらいのつもりで、長大陽線の出た3日後に(当然1日後と2日後は値下がり)、今日は絶対値上りするだろうと勝手に決め付けて、自信満々で前場の成り行きで買い注文しました。結果は値下がりしました…ロスカットです。しかし、その4日後に値上がりしているではありませんか！くやしい!!!

その後も、仕掛けが早すぎて値下がりの恐怖と戦いながら値上りを待ち、わずかの利益が出ては「利食い千人力！」とばかりに利益確定した後、こんなに苦労してたったこれだけの利益かと嘆き、仕掛けが遅すぎて高値掴みになってしまい、損切りの憂き目を見るはめになるような失敗を何度も経験した後、私は心底思いました。「押し目買いといってもどこが押し目の底なのだろう、いつ仕掛けるのがベストなのだろう、逆指値が良いといっても、買値と売値は、どんな値段を設定すればよいのだろう、私は一体どうすればいいのだろう!!! 誰か教えてくれ! 他の成功している人はどうやっているのだろう。運と直感がものすごく良いのだろうか? 私の運が悪いとでもいうのだろうか? 頭が悪いとでもいうのだろうか? ちゃんと努力はしているつもりなのに?」悲観と嘆きの日々が続きました。(中略)以上、今となっては笑い話ですが、私の失敗談を披露させていただきました。わずかでも皆さまのご参考になれば幸いです。」

個人投資家への一言アドバイス

利用する発注画面では発注オーダー内容、約定の確認は必ず行なう習慣づけを行ないましょう。

●恐怖感と焦燥感で売却

(新潟県 sizumegu さんの失敗談)

「パソコンでトレードすれば売買手続も簡単で、少しの利でも数をこなせばプラスになっていくだろうという本当に軽い考えで始めました。チャートの見方も株式用語も分からないまま、「株投資の完全ガイド」という見出しの雑誌1冊を買って、100 万円で Kabu.Com に口座を開設し、先ずはその株を1株買いました。

これは、相場が活気付いてくれれば証券会社は儲かってくるだろうという単純な動機です。4 日後に東芝を買い、その後 2 週間の内に更に 3 銘柄買いました。

東芝は、世界最小のハードディスクを使った新製品を出すという情報から、他 3 銘柄は特に理由がないまま買い易そうだというだけで買いました。

Kabu.Com と東芝は上がりましたが、他 3 銘柄は下げていきました。

下げたと言っても 1 万円台ですが、初心者でどこまで下がるか分からず、恐怖感と焦燥感に駆られ、一番下げている 1 銘柄と東芝を相殺する形で売却。

プラス数千円。残りのマイナス 2 銘柄のうち 1 銘柄を 300 円プラスになったところで売却。

残るは、10%位伸びている Kabu.Com と下げている 1 銘柄になりました。

このまま下げ続ければ収支マイナスという恐怖感がつのも、10 月 19 日に最後の 2 銘柄も相殺売却。

勝ち負けで言えば 3 勝 2 敗ということでしょうが、100 万円の投資結果はプラス 73 円でした。

資産を増やすという本来の目的は達成できなかったわけです。」

個人投資家へのひと言アドバイス

エントリーする価格、手仕舞いポイントはトレード前に決めておかなければいけません。

これを行なわないと感情に動かされてその場その場のなりゆきでトレードしてしまうことになります。

●銘柄抽出ソフト

(山口県 ヒロチャンさんの失敗談)

「私は、今年の4月から株取引を始めた超初心者ですので、このメールはあまり役に立たないと思いますが、いままでの短期間の経験談を述べます。株取引は資産運用のため、低金利時代への対応のため、まず本屋さんに行き、株関係の入門書、インターネット取引、デイトレードの本など二十冊は読みました。

これで株取引はできると思い、4月からトレードを開始しましたが、最初は損得がバランスしていましたが、しばらくすると損損が続くようになり、資金はどんどん減りました。そこで再度本屋さんに行き*****社の銘柄探しソフトを知り、活用しました。このソフトは抵抗ラインを自動計算し株価がラインに近づくと知らせてくれるもので優れたソフトだと思います。このソフトで大もうけできると思い、活用しましたが結果はやはり同じで資金はどんどん減りました。」

個人投資家へのひと言アドバイス

初心者の中には利益の出る銘柄を抽出するチャートソフトやスクリーニングシステムが存在すると思っている人がいますが、残念ながら古今東西そのようなソフトやシステムは存在しません。

●○○で儲ける方法

(広島市 カブペットさんの失敗談)

「初心者なので書店の本から勉強を始めました。

一番最初買った本は、「毎月 10 万円は夢○○○株」で 3000 万円儲けた私の方法」「株の自動売買で○○○方法...」

「デイトレードは「○○○チャート」で完勝だ...」「会社四季報で○○○!」「株」の○○○で儲ける本 [単行本] by ○○などです。

これまで低迷していたある株が急に長い白ロウソク(陽線)になっていました。

売買高も増えています。本に書いてある通りのチャートです。

(今思えば、あまりにも勉強不足で独りよがりの思い込みで購入でした)

これは、チャンスと翌日購入すると、待ってましたとばかりに売り一色。1日で元の価格に戻りました。そして次の日から、ほとんど売買のない閑散とした毎日で株価は上がりず結局売ってしまいました。(かなり損をしました)

後で人に聞くと、どうやら仕手筋が意図的に大量の買いを入れて、私のような馬鹿を引き寄せて売り払う常套手段であるらしいとのことでした。

書店の安い本は、やはりそれだけのものだと悟ったのでした。」

個人投資家へのひと言アドバイス

通常時の出来高が少ない銘柄は少しの出来高増で急騰することがありますが、そこに飛び乗ると、出来高が少ないために売りに売れないことが往々にしてあります。商いの薄い銘柄は手出し無用です。

● 勧められるままに株を購入

(神奈川県 純さんの失敗談)

「株を始めて1年目の頃、自分で勉強する事を怠って、とある投資顧問会社に入会しました。自分で株を購入する際は色々と考えて小額の資金からトレードしていたのですが、不思議と言われるまま(自信たっぷりに必ず上がりますと言われ)に買う時は、大胆に資金いっぱいで購入しておりました。

買った株がどんどん値下がりしても「すぐに上がります」と言われ、損切りなど考えませんでした。

半年経過し最初あった資金の約3分の1近くを失ってようやく目が覚め、損切りして勉強しなおすことにしました。メールで上昇銘柄を購入する事もしましたが、上がる事もあれば下がる事もありトータルでプラスにはなりませんでした。

また勧められるままに株を購入する事は一か八かの賭けに大切なお金を投じている事であり、とても怖い事だなど思うようになりました。」

個人投資家へのひと言アドバイス

投資顧問会社や有料情報サービスを利用する時であっても、自分で損切りの水準は決めておかななくてはなりません。
チャートを読む基本的な力がつくとどこで損切りすべきかが分かってきます。

●損切りの重要性

(奈良県 せっかちやさんの失敗談)

「私は、定年後株を始めて3年に成ります。株関係の本を読み現物買のみ取引してきました。株の買い付けは、当初ラジオでこれから上昇する銘柄を聞いて買っていましたが、しばらくは上昇するけれども後は下降し儲けが少なかったり、大損したこともあります。又、急激に上昇している銘柄を見つけると衝動買いをしていたこともあります。まだまだ上昇すると思いきやつくと即値下がりして損をしたこともあります。

最近、基本的にはトレンドが右上がり、売買高が上昇し始めたら買うようにしていましたが、どの状態になったら株は下がるのか分からず、まだまだ上昇すると思いついて、陰線が現れても軽い気持ちで捕らえていた為そのまま放置していると値下がりしあわてて売ったりしてしまいましたので儲けは薄利で損する方が大きく結果はマイナスになりました。

もう一つは、損切りを何%で行えば良いか分からないまま、損切りを始めると損切りして売れば、株価は上昇することが多い為、株価が戻るのであればほっとけば良いと思いついて放置しだすと、今度は戻る所かずると株価が下降し現在塩漬けになっている状態です。

以上のようにトレンドのシナリオを描いて売買するということも知りませんでしたし、ローソク足も見ていたけれども軽い気持ちでしか見ていなかった。特に損切りの重要性が分かっていなかった事が自分でも恐ろしく感じています。」

個人投資家へのひと言アドバイス

推奨されている銘柄であっても自分でファンダメンタルや要因やテクニカルな要因を調べるのが大切です。

あなたの資産管理についてあなた以上に興味を持って取り組める人は他には存在しません。

● 単純なミスの繰り返し

(東京都 ○河さんの失敗談)

「8月の前半はテクニカルはいちおう理解しているものの、マーケットスピードやヤフーファイナンスの使い方が不慣れであったため、儲かっては損失を出し儲かっては損失を出しの繰り返しでした。単純な入力ミス、成行と指値の使い分けがよく分からずにエントリーに失敗したり売りそこねる、という全く信じられないような愚かなミスを何度も何度もしておりました。

また、1度は悪材料が出て数秒で15%の暴落を経験しました(尤もこのときは条件付逆指値の成行売りを設定していたおかげで5%の損失だけで助かりました)。8月後半はほぼ連日儲かっていたのですが、1日3%以上の大きな儲けが欲しいと思い、勘を頼りに寄付で値上がり上位の仕手株を買ってみたところ続けて損失をだしました。

これらのミスさえなければ8月は10%を超える利益は出ていたはずですが。
今は後悔と反省の日々を送っております。

この1カ月で実感したことは、とにかく材料(情報)を集める時間があつたら、テクニカル分析を数多く実践した方が確実に精神的にも健全だ、ということです。ネット上で評論家が推奨銘柄と言ったものの殆んどが上昇していないのを見て愕然としました。」

個人投資家へのひと言アドバイス

中長期投資ではどんなに優良銘柄であっても高値で仕込んでしまつては上昇確率は低くなります。
推奨銘柄は既に人気化していることがあります。株価水準は自分で調べないといけません。

●絶対には負ける方法

(北海道のハミルトンさんの失敗談)

「私の方法は行き当たりばったりで、情報もネット上のものを掻い摘んで、上がりそうだと感じたものに投資するという、絶対には負ける法則で投資をしていたので、教えられるものはなにもありません。

失敗談は数限りなくあるのですが、結局、その他大勢の負け方ですから、今更話をしても皆様の有益な情報になり得ないと思います。仕方ないので、株をやり始めたときから、今までの負けトレーダーのこれまでの話をしたいと思います。

私は今から8年前に株式投資をやり始めました。

その当時は働き始めたばかりだったので、給料がかなり良かったので、自己資金の半分以上を投資に費やしました。

勝ったときもありましたが、結局大きく負け、塩漬け状態の株も持つことになりました。

(当時の塩漬け銘柄はスクウェア、現在スクウェア・エニックスでした。)

負けた金額としては評価損も含めて200万円は超えていました。

投資を始めて2年で嫌気がさし、相場から一旦手を引きました。

そして、相場とは関係がないのですが、パチンコで儲けられないかとパチンコ台の調子やリアルタイムの出玉グラフを調べ上げ、ある一定の法則を見つけ出しました。

これで稼げると思ったのもつかの間、新台の規定が変更され、プログラムが大幅に変わり、今までの常識が通用しなくなりました。結局、パチンコでも、70万円くらいの負けを被りました。

暫くして、今度は先物市場にチャレンジし始めました。

50万円の元手を100万円にまで、一気に膨らませましたが、あっという間に、元手もなくなる始末。結局、これにも手を引き、1年くらい何もしない日々を過ごしました。

そして、今から2年前、ある取引先の方からデイトレードの本をもらいました。

そして、新興市場のことを知り、デイトレードでいけるかどうか分からないが、やってみる価値があるのではないかと考えるようになりました。

しかし、デイトレードは先物市場と似たところがあり、値動きが激しいものを扱うため、仕事をしながらパソコンに張り付くのは無理ではないのか・・・とも、思っていました。

取り敢えず、今まで、野村証券しか口座を開いていなかったところを、この本のおかげでイトレード証券やマネックス証券の口座を開くようになり、環境を整え始めたのです。そして、デイトレードを少し行ってみたところ、案の定、パソコンから離れた瞬間に暴落し、大きく損失を出してしまい、結局、無理だという結論に達しました。

しかし、この本から得られた情報の中に、新規公開株の話が載っていました。

新規公開株・・・ブックビルディングにより、抽選にて公募価格で株を手に入れ、公開と同時に値が跳ね上がったところで、売却し、利益を得る。

抽選で選ばれる確率は低いものの、当たればほぼ確実に利益が得られる・・・これだ！と思いました。確実ではないもののやってみる価値があると思い始め、

証券会社の口座をさらに増やし始めました。大和証券、松井証券、楽天証券、ライブドア証券の4社を追加で開設しました。

実際に資金をあてがったのはイトレード証券、マネックス証券、野村証券、大和証券、松井証券でした。もくろみはあたり、松井証券で120万円、大和証券で30万円、マネックス証券で3万円、野村証券で8万円程度の利益をたたき出しました。

そして、その利益を、今まで塩漬けにしていた株を売却し、確定申告し、評価損と相殺させ、去年度はプラスで折り返すことができま

した。ただし、株式上は・・・です。

実は、それと平行してワラントに手を染め始めていました。少ない金額でハイリスクハイリターン・・・。

何の法則も持たなかった頃ですから、勝ったり負けたりしていました。

で、結局は去年度の株式上の利益はワラントの損でチャラとなってしまいました。

今年に入ってから全く駄目です。あのライブドア事件による影響も少なからず受けました。

結局、ライブドア事件によって、トレンドが変わり、ワラントで得られた利益も、すべて消え、むしろ、マイナスになってしまいました。

最後に大きな賭にでてしまいました。新規公開株の急激な値上がりを求めて、初値に手を出し、その後一気に暴落して、莫大な損失を出してしまったのです。細かい計算はしていないのですが、ワラントも含めて、ざっと130万円くらいマイナスではないでしょうか。」

個人投資家への一言アドバイス

自分が参戦するマーケットを頻繁に変えてはいけません。自分がトレードする時間枠を頻繁に変えてはいけません。
マーケットや時間枠がトレード失敗の原因ではありません。

● 銘柄に惚れる

(静岡県 suehirogari48 さんの失敗談)

「昨年の失敗談ですが、私の場合銘柄に惚れこんで、失敗することが多いようです。

10月22日にマザーズのディップを244000円で10株買いました。

ホームページを見て、社長も仕事ができそうで、将来性のある業種です。

負債もないし、今までの業績も良いからこれだけ下がればそろそろ反発するだろうと思っていました。

でも下がりだすとヤフーの掲示板は気になるし第4期の業績が減益だったら10万くらいまで下がるんじゃないかと不安になり、結局12月3日に195000円で全部売却し50万円近くの損失でした。

業績は発表されなければ、一般の投資家にはいくら考えても分かりませんよね。」

個人投資家への一言アドバイス

「銘柄に惚れるな」は相場格言のひとつです。どんなに惚れ込んだ銘柄でも、その銘柄が必ず上昇するとは限りません。銘柄に惚れ込むと売り時、損切りのタイミングを逃すことが多くなります。

●トレードルールが無い

(鶴見区 MONGORU DOG さんの失敗談)

「私は株式投資を始めて一年近くになりますが既に投資額の 6 割を損失してしまいました。その間、毎日株関連の本を読み努力をしてきたつもりですが、一向に成果はあがりません。失敗例については多数ありますが、自分なりのルールを決めずに参加していた事が最大の失敗だと感じております。その一つとして、トレードの期間が挙げられます。短期で考えるのか、それとも中期か、長期かと方向が定まらず、長く持つつもりで買ったものが翌日に下落すると不安になって売りに出してしまうたり、一日で手仕舞うつもりがまだ上がりそうだと長く持つことにしたりと右往左往を繰り返していました。」

個人投資家へのひと言アドバイス

自分なりのトレード戦略やトレードルールがない場合には、欲と不安で売買を行なうことになってしまいますが、それでは相場で勝つことはおろか、生き残ることさえ難しくなります。

●ロスカットが機械的にできない

(吹田市 ボウケンマンさんの失敗談)

「投資をはじめて、約10年になりますが、未だ安定した利益を出せないで苦労しています。

商品先物、ミニ株、FXという順番で、投資を行ってきました。
商品先物で、大きな損を出し(担当者の言いなりになっていました)。

そこで自分なりの方法を確立しないとダメとわかりました。
ただし、本を読んでもなかなか良い方法は見つかりませんでした。

- ①正しい投資手法の確立ができていないため、少し悪い結果が出ると、直ぐに方法を変えてしまう。
- ②ロスカットが、機械的にできない。

思った様に相場が動かなかった時は、ストップロスポイントを下げることを行っていました。
もうどうしようも無くなってから、投げるということを繰り返してきました。」

個人投資家へのひと言アドバイス

マーケットを変える度に知識と経験を一から学びなおす必要があります。人のいいなりになっているといつまでたっても自分で売買のタイミングが分かりません。機械的に損切りができないとどんどん投資元金が減り続けます。

●相場のことは相場に聞け

(大館市 冬〇庵さんの失敗談)

「金儲けを考えるのは下品である」そう思っていた私は、「自他共に幸せになるため、まじめに一生懸命仕事をする事」が美德であると信じていました。あるとき、本を読みました。例の「金持ち父さん」シリーズです。

「金持ち」という題名に下品さを感じていたため、かなり流行に遅れてのことでした。ところがその本をきっかけに考え方が180度変わり、自己実現のためにも社会貢献のためにも資金力が必要でその力をつけるためには勉強した上でリスクをとらなければならないことに気が付きました。

それからは、とにかく勉強しました。

ファイナンスを中心に、不動産や債券、FXに証券などなど、お金に関することをむさぼるように研究しました。

その結果、企業価値の算出もある程度できるようになりました。

バフェットなどの投資手法も学びました。テクニカル分析は理屈に合わないと考え、ファンダメンタルズ分析を信奉しました。企業価値に対する割安度からある銘柄を選び出し、株デビューを果たしました。価値計算や、ロスカットポイント、ターゲットポイントや期待収益率、その他諸々全て計算してのエントリーでした。はじめに1単位買ったのですが、値を下げていきます。

「こんなに業績のいい会社なのに、みんな分かっていないな。」そう考えました。

その後さらに下げてきたとき、損切りポイントになりました。でも、ほんの数千円の損がもったいなく思えてきました。

ナンピンをしてはいけないことを理解してはいたのですが、ここでコストを下げれば損をしなくてすむと考え、もう一段下げたところでさらに1単位買い増しました。その後は、この下げ相場、どんどん下がる一方です。

もともと、長期保有での利回りを考えていたので、もうあきらめて塩漬けにしました。

この失敗で、多くのことを学びました。確かにいつかは企業価値に市場価額が収斂していくのですが、「相場のごことは相場に聞け」と言うように、マーケットと素直に向き合わなければならないことを知りました。

その後は、テクニカルの勉強を始めました。マーケットを総論的にも学びました。それでも、損の繰り返しでした。要するに知識を統合できていなかったのです。」

個人投資家へのひと言アドバイス

トレードの概要、トレード手法、トレードにおける資金管理、リスクの管理、メンタル面のコントロールといった全てを統合した上で自分なりのトレードルールを構築するまでには時間がかかります。だから、最初は小さくポジションをとるべきです。

●IPO、信用取引

(滋賀県 びーばすさんの失敗談)

「私が株式で最初に、そして最大に儲けたのが、バブル絶頂期のNTT株。
それまで、旧山一証券で中期国債ファンドをコツコツ買って貯金をしておりました。

そのうち証券会社からNTT株が公開されるので、買いませんかとの書類が。家族の名義も使い4通申し込みして、1通が当たり、程なく購入。最初は50万ぐらい儲かればと思ってましたが、そのうち、次第に値が上がっていき300万円で売却。これでおいしい思いをしました。

この間、10余年が経過してその後は自社株を売るだけの売買でしたが、昨年秋にネット口座を開設して、10万円から取引をスタートしました。そのときはネットで3-9トレード法を見つけて、ちょこまかと売買を20回ぐらい繰り返し、一応損はしない状態でした。そのうち、元手をもっと増やして、もっと儲けようと思い信用取引に手を出しました。元手は70万円で始め、最初の取引で空売りをやっしまいました。銘柄は**71です。その株は暴騰するなかで、始値で空売りしたものですから、損をしてその日のうちに手仕舞いしました。ここで8万円損をして、もう信用取引はしないと株の先輩にも宣言して、そのままIPOだけに専念するようになりましたが、元手も減らない代わりに、このIPOちっとも当たりません。

そのうち、新車が必要となり(私の現在の車は中古車で良く故障して、家族の願望です)
株で300万円儲けようという事になり、先の60万と新規に60万を都合つけて120万円で取引スタートを行いました。

そして、信用取引に又、手を出して、2回取引で失敗してしまい、他の宛てのあるお金も株資金に使ってしまい、60万を失ってしまいました。

丁度その前に、反対売買をして**20で200株信用買いしてしまい、今は処理するともう株に参戦できないため、じっくりと上がって来るのを待っています。プラスマイナス0のレベルまで戻して来るのは1ヶ月以上先という見込みで、(これも見通し甘いです)勉強中ですが、勉強すればするほど過去にやったことが、なにも考えなしでやったなあという思いでいっぱいです。

私の悪い癖は、損をしたときに、「まず損切りが大事！」とばかりに、少し買値から下がってしまうと、怖くなり手仕舞いをしたがります。要は初心者のくせに信用取引に手を出して、負けを大きくしてしまいました。資金のバランスと損切のバランスがおかしいですね。以前の私なら、もう負けているのだからやめておこうと考えるのですが、なんとか損だけでも挽回したい。そうしなければ、家族には車を購入するために(つまり儲けようと)株をやっているのに、損したなんて絶対言えません。それだけ切羽詰まった状況です。

ここまで、書いて何も株について勉強してなかったなあという思いです。ネットであちこち情報は入手しているものの、断片的な情報でした。しっかりと株の本を購入したのは、**五法の本を2冊と****コム「**ー」さんの著書。あとPCにアル**チャートを購入にて導入してますが、なんせ基本となる姿勢、方針がうつろですので、軸足がしっかりしておりません。

そして、90%の負け組に完全にはまっております。株は儲かるもの。これは最初においしい思いをしたので、必ず少し売買に慣れれば利益はついて来る物と思っていました。今後はCDの内容を何回も何回も読み返し自分のものになるようがんばります。今は**証券でやっていますが、****コムの方へ資金関係落ち着いたら移ります。****コムはリスクを抑えた売買方法ができるので、口座は前から持って他ののですが、本格的に信用取引口座開設しましたので移動します。」

個人投資家への一言アドバイス

相場環境の良いときには何をやっても、誰が投資しても、利益が上がります。それを自分の能力だと過信して、大きなポジションを取ったために大きな損失を被る個人投資家が後を絶ちません。1度や2度の利益で大きなポジションを取ってはいけません。

●トレンドに逆らった売買

(兵庫県 DIさんの失敗談)

「失敗の具体例です。

①トレンドに逆らった売買絶対にはしないこと。

(押し目と下落トレンドの読み違い)

天井をつけたと自分で勝手に判断、信用売りを仕掛け、初日は含み益がでたものの、翌日から急騰、ストップロス設定していなかったことから損失が拡大した。

押し目と下落トレンドの違いを認識していなかったことが原因。

全体地合が上昇トレンドにある時は、“買い”から入るのが常套なのに“売り”から入ったことが失敗の原因。

②チャート分析以前の問題として売買テクニックが稚拙。

(必ず逆指値のストップロス設定を)

当初、大手証券会社のインターネットトレードで始めたが、売り買いとも、成り行き・指値の2パターンしかなく、しかも当初はストップロスの売値指図をしておらず、帰宅して急遽売却指示操作をする始末です。当然、大幅な損切りです。

常時パソコンに向き合うことの出来ないサラリーマンにとっては、非常に不利な方法であることに気付き、カブコム証券とマネックス・ビーンズ証券に変更しました。それでも、現状の勢いから大丈夫と勝手に思い込み、逆指値を入れておらず損切りすることもしばしばありました。

又、ロスカットのストップオーダーも先日のライブドアショックの下げで、判ったことですが、JASDAQ 市場では、指値注文しか受けられず、予め逆指値のストップオーダーを入れていても、当日の始値が逆指値を下回ってついでと、予め入力した逆指値注文は全く意味を持たないということも判りました。昨日は含み益から一転店大幅な損失でした。

JASDAQ 市場は買うときはそんなに注意することはないですが、売るときは、成り行き注文が出来ないだけに、サラリーマンにとっては、非常に不利市場と言えます。

また、新興市場は値動きが激しいだけに、そういう市場の特性も理解すべきだと痛感しました。板が常時見れないサラリーマンにとっては、兎に角、JASDAQ 市場は要注意です。

③シナリオライティングをしてからトレードする。

シナリオライティングが全く出来ていない、いや、全く考えていなかったといったほうが良いかもしれません。

とりあえず買って、それから売りを考えてましたが、そもそも買いに入るのが、陽線が出てから買う為、どうしても高値掴になり、過去の損失が雪だるま式に増えていることも有って、少々買値を下回ると狼狽売りをしてしまうの 패턴の繰り返しでした。

やはり自信がないことと、相場を読みきっていない、チャートを自分のものにしていない、ことも原因だと思いました。

④感情の排除と機械的に徹する。

何度も同じ過ちを繰り返し、自己嫌悪に陥ることもしばしばです。

出来上がったチャートを見て後講釈で何とでも言えますが、実際その時点で売るか、買いかを瞬時に判断してのトレードはまさに真剣勝負そのものなんです。相撲では、相手が見えてて、自分より強そうだから、土俵に上がらないということも出来ますが、株相場の場合は相手が全く見えません。それだけに自分自身を武装しなければならないことを痛感させられますし、同時に、感情に左右されることなく、感情を入れずに、機械的になることの必要性も痛感した次第です。」

個人投資家へのひと言アドバイス

短期売買ではエントリーした後は必ず逆指値を利用してロスカットのオーダーを入れるべきです。

これは相場での命綱です。

● 損切りができない

(足立区 太郎さんの失敗談)

「私はインターネットで株取引をデイトレ中心に行っていました。デイトレードといってもパソコンに一日中向っている訳ではなく、前日やその日の朝に株式ニュースや経済情報などで気になる銘柄や推薦銘柄等を選び、場の始まる前の値動きを参考に買い、後は日に数回から数十回と手の空いたときに値動きをみて売買する方法でした。

下落していれば売り、上がっていればもう少し様子を見と単純に売買してお小遣い程度にはなっておりました。はっきり言って確たる売買の基準はありませんでした。

でその中で一番の失敗は損きりが出来なかった事です。それはネット関連の株でつい欲が出て次の日まで保有してしまい、そしたら値下がりしその後も下がるばかり。決算でも黒字、話題にもなっているものでしたので、これは上がると勝手に思い込み保有し続けただけに今までの利益をなくす羽目になりました。

もう一つの失敗が IPO 関連株。値の上下が激しい物があり、うまくいけばかなりの利益がとれる物でした。これも欲張り大失敗に。連日の高騰に気をよくして株を連日保有してしまい気がついたら大暴落。でも欲が出て損きりできず大損でした。」

個人投資家へのひと言アドバイス

トレードには思い込みの感情を入れてはいけません。

どんなに好材料が出て、好業績であっても、決めた水準では思い込みを入れずにロスカットです。

●チャートや移動平均線を見て勘でトレード

(大阪府のF代さんの失敗談)

「私が、株取引を始めたのは18年程前、3年間くらいしていました。当時、バブルの絶頂期。日経平均38000円 加熱し過ぎで対応しきれず東証の後場が中断したこともありました。

今思うと、まるで別世界ですね。地合いが良かったせいで、順調に利益を上げていましたが家庭の事情で、株に関わっている時間がなくなりそれから、すっかり遠のいてしまい、株に対しての興味もすっかりなくなっていました。

それが、ちょっとしたきっかけでまたトレードを始めだし4ヶ月になります。以前、自分がどんな銘柄を買っていたのかという手法で取引をしていたのか、すっかり忘れてしていました。たぶん、行き当たりばったりの勘頼りだったんだと思います。それでも、当時は儲けられたんですね。

そして、最近の私は、他力本願で掲示板に名前が出てきた銘柄を大雑把にチャートや移動平均線を見て、ほとんど勘でトレードをしていました。

・・・が、ある銘柄でついにガッツンとやられてしまいました。利益が上がっていたのにも拘らずもう少し・・・と欲をかいたので翌日からズルズルと値を下げてしまいロスカットをした時は、あっという間に資産がマイナス30%になっていました。」

個人投資家へのひと言アドバイス

絶対に掲示板等の銘柄情報で売買を行なってはいけません。

それは資金を失う最短の道です。

●デイトレードで持ち越し

(広島市の manato さんの失敗談)

「知り合いをまねていきなりデイトレードに挑戦した時のことです。緊張しながら買ったのはよいものの、売り時がわからず1円下がってはハラハラドキドキで、1日中場に張り付いていました。わずかな価格変動で売り買いをして、ほとんど利益にならずとても疲れました。そんな中買った銘柄がとたんに下げてしまい、損切りをする勇気もない私はそのまま翌日へ持ち越ししてしまったのです。

「また上がるかもしれないから、その時まで持ってればいいや」という考えでした。

今考えれば、デイトレをしていたのですから、翌日へ持ち越しはしてはいけないことだったのですが…

翌日、企業のマイナスなニュースが流れ株価は一気に下がってしまいました。数万円の損失ですが、初心者の私にとっては非常にショックで大きな痛手でした。損を確定するのが怖くて売るに売れなくなり、結局今でも持ち続けています…。塩漬けです。

その日のうちにロスカットしておけば…と悔やんでいますが、自業自得ですね。

元々ろくな勉強もせずに投資の世界に入ったので、しっかりと一から勉強しなおしたいという気持ちと、生活が忙しくなったのもあり、それ以来投資はしていません。今思うと、こういった失敗経験があったからこそロスカットの大切さを思い知らされましたし、リスクマネジメントの意味も深く理解することができました。」

個人投資家へのひと言アドバイス

トレード開始初期の損失は悪いことではありません。それにより真剣に取り組む決意が生まれるからです。但し、最初の損を取り戻そうと、すぐに無計画なトレードを繰り返してはいけません。相場は明日もあります。地力をつけることが先決です。

●大引け間際と寄り付き前のエントリー

(奈良県 1028chika さんの失敗談)

「もともとが我流だったので、人には言えない馬鹿馬鹿しい失敗もしてきましたが、翌日の為に、後場引け間近に急いで飛びつくのは良くないと思います。

たとえその日一日の値動きを見てきて、チャートをよく確認し、「よし、明日は上昇しそうだ」と判断しても、実際、翌日にならないとどうなるかは分からないわけで、当日になって、思うように値が上昇せず、売りのタイミングがつかめずにいるときに、「他に目をつけていた銘柄が急上昇！」なんてことになると、目も当てられないことになります。

経験者です(前日全力買っていたので、資金に余裕がありませんでした)。

同様に、寄り付き前にエントリーするのも控えたほうがいいと思います。

その日のその銘柄の動き・勢いをきちんとチェック・確認してから最終 GO サインを出すべきでしょう。」

個人投資家へのひと言アドバイス

寄り付きから15分、30分、そして大引け間際は売買が活発で値動きも激しくなりがちです。

確固としたトレード戦略が無い場合には、初心者の間はトレードを控えた方がよい時間帯です。

● 準備も勉強もせず

(埼玉県 ○部さんの失敗談)

「さっそくですが、私のトレード失敗体験を書き送ります。
私は全くの投資初心者です。投資を始めるにあたって何の準備も勉強もしていませんでした。

長年、自分には株式投資など無理だと諦めていたのですが、何の気なしにネット証券会社の資料を取り寄せてしまい、それがきっかけで始めたのです。当然、株の勉強をしていないのですから、チャートなど読めません。
ファンダメンタルズも判りません。投資銘柄は、ただ漠然と、思い当たるセクターの中から適当と思える物を選び出しました。
今から思うと、ずいぶんと無茶な事をしたものです。結果は火を見るよりも明らかでした。
銘柄の選択も、投資のタイミングも判らない私には、損切りの基準とタイミングも判りません。
株価が上昇している時は良いのですが、下がり出したらおしまいです。

現在、さして規模の大きくない私のポートフォリオは、その大部分が多大な含み損になり「塩漬け」とあいなりました。
「塩漬け」の期間は、神ならぬ身の、知る由もありません。つまり事実上、投資資金の大半を失ってしまった訳です。」

個人投資家へのひと言アドバイス

多くの人はトレードを始めようと決心するまでに時間がかかりますが、決心したとたんに「すぐにトレードしないと機会を逃してしまう」と考えがちです。知識の無いままに相場に入っても、よほど地合いの良い時期でなければ利益を産み出すことはできません。

●仕手筋に買われるという情報

(新潟県 株助さんの失敗談)

「バブル崩壊前のことで、当時私は、企業業績を頼りに株式投資をしていました。投資しようとする銘柄については必ず自分で調べました。証券営業マンや株雑誌の推奨銘柄などは決して信じないぞ！ましてや仕手株なんぞには絶対に手は出さないぞ！という、固い決意？で売買していました。

ある日友達が遊びに来て、「いい話があるよ。×××株がこれから仕手筋に買われるというんだ。確かな情報だからお前買ってみたら」と言うのです。

その彼は根っから真面目な性格で、誠実でもあり信用できる男です。

今まで私にウソやデタラメを言ったことはありません。

今現在でも親友として30年以上の付き合いです。

彼自身は株投資はしていませんでしたが、政治や経済に関心が深く、勉強家でもありました。

そういう彼が言うのならと思い、チャート誌や四季報を調べてみました(当時インターネットなどはありませんから)。

業績などは特に可も無く不可も無しでしたが、チャートを見ると既に仕手戦が終わったような痕跡があり、株価はその後低迷を続けています。

彼にそのことを言うと「いや仕手戦はこれからという話だ」との答えです。

実はその銘柄というのは彼が勤務している会社であり、加えて、かつて私も在籍していた企業なのです。

もう疑うことはありません。信じ込みました。

特別でとびっきりの内部情報が手に入ったというわけですから、押し目？らしきところで喜び勇んで買い込みました。

ところがしかし、株価は仕手戦どころかず〜と沈みっぱなし。

まだかまだかと待つうちに塩に漬かってしまいました。ダメサレたあ〜幸い約1年後に、ようやく定期預金の利子程度の利益を出して売ることができました。が、その間気持ちは沈みっぱなしです。

数年経って、彼との間でこの話が出ました。

「あの話はどこから来た話だった？」と聞くと「会社の上の方から聞いた話だった。だから間違いないと思ってお前に勧めたんだ」とのこと。実は彼も買い、彼の同僚数人も買ったんだそうで、互いに顔を見合わせて苦笑いするしかありませんでした。

ちょうちんを付けようとして仕手筋が流した話が、だいぶ時間が経ってから伝わって来たもののようで、私達はその古い情報にまんまと乗ってしまったというわけです。

結局、話を持ってきた親友にも、その彼の上役にも、悪意はまったく無かったわけで善意がさせた話だったのですが、儲け話というものは、このように、実に簡単に広がるということです。

しかもだれでも簡単に乗ってしまうということです。悪意があろうが善意であろうが関係ないんですね。

このときの体験でつくづく思い知らされました。反省しきりです。

誰でもいつでも簡単に、欲に目が眩んでしまいます。また日頃慎重な人間ほど簡単にやられてしまうということでもあります。

善意で提供される情報でも、どんなに確かと思える情報でも、確実なウラが取れなければ決して手を出してはいけないという教訓だけは残りました。」

個人投資家へのひと言アドバイス

大抵の場合、インサイダー情報が個人投資家の元に流れてきた時点では、その情報は使い物になりません。あなたが仮に情報源に近い立場にいてそれを利用するのであればその行為は違法です。どちらにしてもインサイダー情報は売買根拠にはなりません。

● 自分との戦い

(茨城県 疾風ウォルフさんの失敗談)

「あるトレード(失敗)で、株取引は心理戦なのだと感じました。
それは市場や他のトレーダーとの心理戦ではなく、自分との戦いがまずあるということです。
先日ある銘柄が一定条件をクリアしていたので、翌日指値で注文を入れました。(逆指値です)

翌日寄付きでジャンプアップしていて約定しませんでした。
しかしまだ上がると思って直後に成り行きでトレードに入りました。
これがいけなかった。

約定価格を高値にどんどん下げてしまいました。
まあ途中で損切りしたので大きな損にはなっていませんが、失敗でした。
この失敗の原因は、『株価上昇に乗り遅れまい・・・上がるはずだ』という焦りの気持ちが、『高値で掴むとRR比率が小さくなる。』などの冷静に分析する気持ちに勝ってしまったことです。
要するに自制心がなかったのです。
確かに早く利益を出したいのですが、これからは焦らずにトレードしていきたいと思います。」

個人投資家へのひと言アドバイス

「リターンの違いは、知識とは無関係であり、すべては感情的、心理的要因にあった。」と言ったのは、伝説の投資集団でトレーダーをして活躍したカーティス・フェイスです。メンタルコントロールはトレードの成功に欠かせない要因です。

●営業マンの言いなり

(埼玉県 曲がり屋さんの失敗談)

「少し罫線の本を読んだだけで、営業マンと上がる下がる等のもっともらしい話をして決定しているつもりが、営業マン言うとおりに取引してしまった。結局大きく損してたまに小さく利益計上で最後は相場から退場する事になった。

- ①自分自身に結局ルールを決めている様で全然決めていなく
プロの言うことだからと取引した。
- ②自分ではここで損切り覚悟で決めていても営業マンと話をする
もっともらしい材料や内部要因を並べて明日こそは明日こそはと思ってしまっていた。
- ③利益が出ている時も何時逆になるか不安がよぎり
早く確定したいと仕切ってしまう。
(今でもくせはなかなか抜け出せない、ルールを決定していなかった)
- ④ストップロスを確実に決めていない曖昧
- ⑤悪い時に自分の都合の良い材料探しをしている。

上記のような経験を何度も経験してとにかく自分なりやり方を探しています。

現在のやり方になるまでかなり時間とお金を掛けましたが自分で決めた損切りを確実に出来るようになってから若干でも利益の方が増えてきている、利益を大きく伸ばすがまだ出来ていないので大きく伸ばすルールを確実にものにしたい日々です。」

個人投資家へのひと言アドバイス

個人投資家が退場させられるパターンの一つが「度々の小さな利益と、わずか数回の大きな損失」です。それは利が出ている時には早く利を確定したい、損が出ている時には値が戻ることを願うという感情のために起こります。

●デイトレード

(東京都の Kt さんの失敗談)

「私はもうすぐ 30 歳になる女性です。結婚が決まり、仕事を辞め、「フルで働かずに、毎月数万円でいいから何かお金が儲からないかなあ…」と思い、デイトレードの本を購入しました。そして、「これなら自分にもできて、楽に引きこもったままお金が儲かりそう！」と安易に考え、株をはじめました。結果はひどいものです。

自己資金 50 万円ではじめたのですが、半月ほどであつという間に 10 万円強がなくなりました。

これは少ない資金で、コツコツちょっとずつ稼ぎたいと思っている人間には手痛い金額です。

手を出した銘柄は、サイバー・エージェント(4751)や MCJ(6670)など「デイトレ御用達」と思われる銘柄など、またその日だけの盛り上がりを見て、「デイトレなら関係ないさ」と思い、東日カーライフグループ(8291)や東亜道路工業(1882)などにも手を出しました。

結果は、ほとんどすべてで損しました。

(たまにわずかにプラスになるのもありましたが、損失のほうがそれを大きく凌駕するのです)

「上げ相場でも下げ相場でも関係ない」というのがデイトレ本のコピーでしたが、「上げでも下げでも関係なく損をする、私の場合は」と思い、落ち込みました。」

個人投資家へのひと言アドバイス

デイトレードは初心者の興味を引きつけます。但し、デイトレードに参戦してよいのはチャートが読める、場を見ることができ、ベースにする投資手法やシステムがある人だけです。

●マル秘情報を元に売買

(東京都墨田区 shochan さんの失敗談)

「私の株の取引は、12~3 年前当時勤めていた会社の部下から、ここだけの話というマル秘情報を根拠に、生命保険を解約して 200 万円の株を買ったのが始まりでした。

しかし、最低 5 倍あわよくば 10 倍以上になるはずの株は 3 年後半値になっていました。

しかしその 100 万円を元にした株が今度は一年で 4 倍になり、自分は株の才能があるかと思い始めました。

それから去年の暮れに会社を辞めるまで、中期投資中心に回転させ、飲み代が足りなくなると一部現金化していくというような事を続けていました。

投資方法は、株価の極端に下がった株(50~100 円)を買って半年から一年してから売るといった単純な方法でした。

ろくに情報も取らずに勘をたよりに売買していましたが、不思議と損はしませんでした。

そして、去年の暮れ 33 年間のサラリーマン生活にピリオドを打ってから、何をしようかと迷っている時、たまたま本屋で株の本が目にとまりました。

暇に任せて何冊か読んでいるとき、今度は TV でデイトレーダーの特集をやっているのを見ました。

何か急に“これだ！”と思い、ネットトレーダーの仲間入りした次第です。

今までの知識と株の本何冊かで一人前になったような気持ちになり、すぐに資産が何倍にもなると錯覚していました。

本格的にスタートしたのは、今年の 4 月からですが、最初はよかったのですが、5 月連休明けの暴落で一気にマイナスになりました。

その後持ち直しましたが、結局何回か勝って大きく負けるの繰り返しで、現在大きなマイナスを抱え込んでいます。

(中略)さて、いろいろな失敗を繰り返してきましたが、その中の一例を話します。

8/末にある株のセミナーに参加したとき、ある情報通の方から資源関連株の情報として、「9 月末か 10 月上旬にある会社の関連会社

が上場するのでその会社の含み益が 1000 億でる」との事でした。本当だとしたら株は相当上がると思い、チャートを見てみました。直近の 2 ヶ月で 4200~4500 円をいったりきたりして、株価の動きのない状況でした。材料が出れば上昇する可能性がある判断し 4250 で少し買いました。そして毎日株価は少しずつ上げていきました。その中でその情報もいろいろな所で取り上げられるようになり、これは間違いなく 5000 円をこえると判断し、少しずつ買い増ししていきました。9/末にはザラ場で 4810 円の高値まで上昇し、関連会社の正式な上場が発表されればさらに上昇するとおもいました。その時点で保有株 1500 株あり、私としては十分な含み益がありました。しかし、なかなか正式な関連会社の上場の発表がないためか、10/5 には終値で 4640 円に下がりました。この時点で少し不安がよぎりました。そして早めに利益確定すべきか悩んだあげく、10/7 ザラ場で 5010 円になったところで約2/3を 4950 円で利益確定しました。

ここまでは、なんの問題もないのですが、ここから先が最悪の失敗です。

翌日の 10/8 に終値で 5120 円の高値引けをしました。

この時点でまだ関連会社の正式な上場の発表はありませんでした。

しかし、ヤフーの掲示板他で 10/12(月)には正式な発表があり、そうなればストップ高間違いなしとの投稿が相次ぎました。

また株価は 7000 円とか 10000 円とかまで上昇する可能性が高いとの書き込みも多くあり、私自身もそれまでの経験から少なくとも 6000 円は間違いないと判断しました。

そして運命の日(少しオーバーですが)10/12 がきました。

朝の気配値は 8:30 の時点でストップ高でした。

私はもう頭の中は 6000 円間違いなし！あわよくば 7000 円もねらえるかもしれない！と完全に冷静さを失っていました。

しかし、気配値はだんだん下がっていき寄り前で 5300 円前後でした。

私はおかしいと思う余裕もなく成り行きで 1500 株の買い注文を入れていました。

そして 5320 円でめでたく？寄りつきました。

しかし、一瞬 5340 円まで上昇しましたが、その後上がると思っていた株価はじりじりと下げていました。その時点で冷静になるべきでしたが、絶対にそんなはずはない、上場の発表があればまた必ず上昇する、売っている人たちはその事を知らないんだと考えて、

後場終了近くで 5100 円で 500 株ナンピン買いしました。そして後場終了後東証の開示情報欄に正式に関連会社の告知がでました
私は、やった！これで最低 6000 円は間違いないと確信しました。

ヤフーの掲示板にも、売り方の負けだ！明日こそストップ高間違いない！との書き込みが多くありました。

私はそれまで、必ずしもヤフーの掲示板の内容を信用してきたわけではありませんが、その時は完全に冷静さを失っていたと思います。

翌日のストップ高した時の含み益を計算して、俺は株取引の才能があるなと思いながら気持ちよく床についた次第です。

しかし発表のあった翌日以降も、上がるはずの株価はじりじりと下げる一方で一向に上がる気配はありませんでした。本来なら即損切りすべきでしたが、そんなはずはないという思いが強かった分、怪我を大きくしてしまいました。

最終的には、せっかく最初に儲かった分を大きく上回る損を計上してしまいました。

反省すべき点はいっぱいありますが、①自分が知り得る情報は、本当のインサイダーでもない限り、誰でも知り得る、知っている情報なんだということ②自分の仮説と違った動きになったときは、自分の判断が間違っているという視点から、冷静に速やかに行動すべきことの二点に尽きると思います。」

個人投資家へのひと言アドバイス

材料や情報で売買する時でも予めロスカット水準は決めておくべきです。

好材料が発表されたとしても株価が上がるとは限りません。

● 上場廃止

(埼玉県の T.K.さんの失敗談)

「私のトレードキャリアは、1年に満たない新人です。いざ始めようと思って、新聞の株価欄を見たのですが、どの銘柄が買いどきなのか、さっぱりわかりません。日によって、株価は上下していますが、その株価が高値で推移しているのか、それとも安値なのか、それすらわからない状態が続きました。

そんな時、「****ファイナンス」が1円になりました。注目して株価を見てみると、2円になったり、5円まで上がったりしています。「これだ!」と思いました。1円が2円になれば、それだけで2倍。2円が3円になっても1.5倍。他の株を探しても、なかなか2倍、3倍にはならないぞ。

連日、「*****ファイナンス」を買い続けました。1円の時もあれば、2円の時も、3円の時もありました。そして、1円で買ったものは2円で、2円で買ったものは3円で売りに出すという方法を取りました。しかし、一向に売れません。株価が売り出した値段になっているのに売れないのです。不審に思い、証券会社に電話しました。「成り行きから、優先的に約定されますので、…」。

指値でも順番がありますから、先に登録された方から約定されていきますので、売り気配の株数が少なければ、その値段になっていても、約定されないときがあります」との返事でした。そうこう、しているうちに、別な用事があって証券会社に電話したところ、「ご存知ですか、*****ファイナンスは、来週から上場廃止になるのですよ」と聞かされ、慌てました。」

個人投資家へのひと言アドバイス

出来高の少ない銘柄では自分の希望する価格で売買できるとは限りません。

特にデイトレードやスイングトレード等の短期売買を行なう場合には十分な出来高のある銘柄をトレード候補とすべきです。

●完全なサインが現れない時に買い

(名古屋市 キングドラゴン さんの失敗談)

「トレード失敗実話を記入します。トレード歴は、3 年になります。妻と私でトレードを行っています。取引は、現物取引のみでやっています。1 年目は 1/3 が塩漬けとなってやっと半年～10 ヶ月で利益がでた銘柄もありました。トータルとしては、私が 300 万程(年間)の利益で妻は 450 万程の利益がありました。年間のパフォーマンスは私が 17% で妻が 22% でした。次に 2 年目は日経平均が 4/21 前後に 7600 円台で底を打ちました。しかし、私は 2 年目より損切りをはじめて実施して、年間 18 万円の損がでました。妻は 300 万の利益となりました。このとき、4 月底値のとき追加投資をそれぞれ 700 万ずつプラスして投資額をつみましました。今年、私は前半は 400 万程の利益がでてましたが、500 万程損切りを 10 月以降に実施し、銘柄の入れかえを実施し、現時点(11/19)では、プラス 150 万程に回復してます。一方妻は IT 銘柄の成長株で大あたりして前半では、2000 万強の利益をでてましたが、夏ごろからつかまり、1000 万程損切りして銘柄の入れかえを実施し、現状維持の状態です。今回はこの 4.5 ヶ月での一番大きな失敗例を記述したいと思います。

私の手法はおもに逆張りが主体で成長性や業績がしっかりした銘柄を底値圏で、RSI、MACD、ストキャスティックで確認し、反転をまって仕込みに入ることにしました。次の 3 点が一番大きな(失敗)要因だと判断します。

- ①完全なサインが表われない時に買いに入り、もっと下げてしまう。
- ②初めからまとまった買い数をいれてだしん買いでのためしを行わないこと。
- ③損切りが遅れて大きく損がでて切ってしまうことです。

尚、これまでの損切った銘柄を検証してみると 85% がその後利益の出る値までもどしていました。」

個人投資家へのひと言アドバイス

中長期投資では逆張りを行なう場合には必ず長期チャートでの下げ止まりの確認も併せてチェックしましょう。
また、短期売買では逆張りではなく順張りが基本です。

●中長期投資と短期売買の混同

(京都府 チョッパーさんの失敗談)

「これ以上はありえないような恥ずかしい失敗実話を書きます。

2001年に初めて株を始めたわけですが、その当時は中長期で投資するつもりで、7453 良品計画、7479 サンマルク、9980 マルコといった銘柄を少しながら、今年の8月まで保有しておりました。

ある日、ふとインターネットのHPでチャートを見ながら思いました。

「何年も待たなくても利益はでるんじゃないか？」と。

短期売買してみようと思いました。

そこで、たまたま、知っている会社で、目についたのが、7516 コーナンです。

会社情報で、売上高は右肩上がり、EPSは、2003年の238.7円を上回れないが、予想で216.2円。株価は、下降して、少し戻している所でした。PERは11倍ほど。

「安い、買おう」8月11日に1922円で200株だけ買いました。

チャートは、ローソク足の意味は知っていましたが、チャートの意図するものは、全く知りませんでしたし、あまり必要とも思っていませんでした。

その後株価は順調に下がり、あろうことか、翌日、1895円で300株ナンピン買いしてしまったのです。さらに株価は、下げ続けました。しかし、損切りもできず、なぜなんだろうと、再度会社情報を見ると、有利子負債が814億、総資産は1586億円。さらにバランスシートを見ると、思わず、早く売りたいなと思いました。しかし、それでも損切りできず、1695円まで下げてからリバウンドしました。

その時、またも、8月24日に300株買い増ししてしまったのです。

その後運良く、1898 円まで上がりました。

この時点で売っていればよかったのですが、欲を出して、売り損ね、再び 1700 円近辺まで、下がりました。

この時には W ボトムというチャートパターンを知っていたので、利益はいいから、次は買い値で売るぞ、と思っていたのですが、なかなか上がらず、9 月 30 日夕方、予想利益が 50%減という、業績下方修正が出されたのです。眠れない一夜を明かした後、次の日の寄り付き 1404 円で全部売却しました。まとめますと

- ①短期売買に必要な知識もなくトレードを行った(無知、不勉強)
- ②短期売買をするつもりなのに、中長期的な考えで銘柄を選択
- ③中長期的な考えで銘柄を選択しておきながら、ほとんど何も調べていない。(怠慢)
- ④ロスカットができなかった
- ⑤無計画にナンピン買い(感情的になった)(時間とお金の損失拡大)
- ⑥短期言いながら、1ヶ月以上保有し続けた
- ⑦慎重さが欠けた。(慢心)
- ⑧欲を出しすぎた
- ⑨妻に相談しなかった
(妻が納得する物やサービスを扱う会社はなぜか上がる、コーナンは反対された)

あまりにも情けない話なので参考にならないと思いますが、以上です。

数年かけて得た利益は、吹き飛びましたが、必ずリベンジしたいと思います。」

個人投資家へのひと言アドバイス

短期売買と中長期投資では投資戦略が異なります。売買のタイミング、投資手法、銘柄選択も異なります。

自分の投資の時間枠を決めて、その時間枠に専心して学び、経験を積むことが大切です。

●投資顧問

(岡山県 YUKI さんの失敗談)

「トレードの失敗は数ありますが、1つは、日経平均が下降中でもありながら、買いのみで参戦していたときに、その中でも上る銘柄がいくつかあり、いわゆる仕手株ですが、自分の銘柄の診断をしてくれるというホームページがいくつかあり、その内の2つ3つに依頼してみました。

その内に、まったく知らないところから電話があり、投資顧問による投資の勧誘でした。

自分は教えてもないのに、どこからか入手してのことでしたので、すぐには応えなかったのですが、「ここだけの話」としてある銘柄を教えてくれたのですが、その話を信じ、その株を買ってしまいました。

買ったその後、少し下り、ダメされたと思ったのですが、何日かして少し上り、その後、又下ったときに、同じ人から電話があり、「今がチャンスですよ」「今から2倍以上になります」と、その後本当に少し上ったのですが、自分は2倍という言葉信じ、そのときに売らなかったのが失敗でした。

その後、下げても、前みたいここから上っていくのだろうと、でも結果は資産を3割以上減らすことになってしまいました。」

個人投資家へのひと言アドバイス

優良な投資顧問会社も存在します。但し、投資顧問会社を利用する場合でも基本的な投資の理解が出来ていないといわゆる「ババ」をつかまされる可能性もあります。

●高値圏のサイン

(長野県 こまのり さんの失敗談)

「私は中国株に投資しています。投資スタイルは中長期で、長期保有を前提とした銘柄と1～3ヶ月のスパンでタイミングを見計らって売買する銘柄に分けて保有しています。

今までは特にスタイルはなく、中国株関連本のオススメ銘柄や安定した業績が見込めそうな会社、インフラ関連などについて銘柄を選び、売買のタイミングは「なんとなく上昇トレンドだから」「ここが直近の底値ラインだったから」という理由でした。

この例は

- 1)「この値になったら売る」という自分で決めた売値以上の株価がついていたのに、「もう少し上がるかもしれない」と思って売らなかったこと
- 2)そうしているうちにチャートが出していたウリのサインを見逃したこと

という2つの過ちを犯し、10万円以上あった含み益が2万円弱になってしまった話です。

その株は、「アンホイコンチ」というセメント製造・販売の会社で、8.1HKドルで8月末に購入しました。週足チャートでは上昇トレンドにあったので、ターゲットポイントは直近の高値の10HKドルと決めていました。

その後、順調に株価は上昇し、9月中旬に10HKドルを超えます。ターゲットポイントになりましたが、まだ上昇基調だったので「もう少し上がるのではないか」と思ってしまいました。

そして 11.8HK ドルをつけた 10 月初旬、「ここで売ろう」と思ったのですが、「いや、以前 12HK ドル以上の値が付いているし、もう少し上がるだろう」という根拠のない期待をして、売るのを先延ばししてしまいました。

それが同封したチャートの「陽の寄付坊主」が出ている日のことでした。

チャートの勉強も「さらっと本を読んだだけ」だったので、「これが高値で出たら、値下がりのサイン」ということを忘れていました。

その後株価は大陰線をつけ、今までサポートラインだった 10 日移動平均線も下回ります。まだこの時点で売っていれば当初の「10HK ドルで売る」という目標をクリアできていたのですが、「また盛り返すのではないか」と思ってしまいました。しかし株価は下げ止まらず、9HK ドルに下がった頃に、同社の今期の利益が大幅に減少する発表がありました。

「チャートは様々な情報を加味した、市場心理の表れ」ということを実感しました。

それを肝に銘じていれば、チャートの動きだけでも「ウリ」の判断をできていたはずでした。」

個人投資家へのひと言アドバイス

投資で最も難しいのは「売り時」だと言われています。「こうなったら手仕舞いする」という利益確定のためのルールも必要です。

●チャートが読めない

(大阪府 クロック さんの失敗談)

「私は以前、アクモス(6888)を57万ぐらいで購入しました。
その後、この株はネットバブルの波にのって260万ぐらいまで上昇しました。

当時は、ソフトバンクや光通信、ヤフー等とんでもない値がついておりましたので、この株も1千万円ぐらいまでは上昇するものと本気で思い込んでしまい、利益確定をせずに放っておきました。

そのうちに、どんどん下がってきてきましたが、当時チャートの見方がまったくわからなかった私は、また戻ると根拠なく思い込み、さらに放っておきました。

結局は、ネットバブルが大崩壊する中、買値よりも低い値段で手放すはめになりました。
ある程度チャートの見方がわかるようになった現在では、危険ゾーンに突入したら売る等の対策をとることが出来るようになりましたが、あの時ある程度わかっていたらなあと思われてなりません。

以上 私の失敗談でした。」

個人投資家への一言アドバイス

ファンダメンタルに基づく投資を行なっている場合でも、月足や週足でのチャートの読み方を理解しておくことでリスクを軽減することが可能になります。

●証券会社と投資顧問会社

(北海道 ショウケイさんの失敗談)

「数年前より株資産が半分以下になり、売るに売れず塩漬け状態になりました。ある証券会社に依頼し半年位で 15%位利益が出て少しほっとしていましたが、その後株を売買する回数が多くなり利益を上げる為売買をふやしましょうという事になり、その結果半分の資産になりました。

それで証券会社の人にどうするのとたずねると、今度は IPO で短期利益を追求するとすぐ戻るという事で 2~3 回しましたが、ある程度大きくとれるものもありましたがかなり損失も大きかったです。

結局 IPO では少しの損失ですみましたが資産の 4 分の 1 になってしまい証券会社の人や投資顧問の人は信用できないと思いました。人生においてこの 3 年間は高い授業料でした。それから 1 年半位株式投資をしていません。

自分の資産を自分で売買して損をしたら納得しますがプロだからといって他人まかせにすると全資産なくなってしまう。

自分の資産は自分で守る、あたりまえの事ですが 45 才になってはじめてわかりました。

はずかしい話ですが知識もないのに株式投資をするな！という事がよくわかりました。」

個人投資家へのひと言アドバイス

相場には優れた頭脳と、豊富な資金と、広範な情報網を手にした人たちが参加しています。

知識も無く参入して生き延びることができる場所ではありません。

●一番高いところで買い、一番低いところで売る

(栃木県下都賀郡 バロン さんの失敗談)

「はじめまして。私は8月の初めに地元の書店で「株は儲かる」というような本が目に入りました。妻が元証券会社に勤務していたにもかかわらず、株に関しては全く知識はありませんでした。何となく儲かりそうと思ってさっそく口座を開き、トレードしました。実際に売買してみると、どのタイミングで売買したらよいか難しく、1円、2円、3円と上がると、もっと上がるのではと思い放っておくと一気に-10円とかになってしまい、最初の4銘柄では利益は出せませんでした。

有名だからという理由だけで何となく買ったダイエーが185円で買ったにもかかわらず、翌日グングン上がり、下がらないうちに売ろうと200円で売りましたが結局235円まで上がりました。そのまた次の日も午前中から上がり続け、こんなことなら今売らなきゃよかったと、午前中の引けの終わりに273円で買ったところ、12時24分に東京証券取引所で調査をするため一時取引停止となってしまいました。その日の午後は仕事でパソコンを使えず、気がつくとも205円でした。仕方なく205円で損切りしたとたんまた上昇しだし、235円程に戻っていました。結局一番高い所で買い、一番低い所で売ってしまったのです。これで15万円程損をしてしまいました。この負けが大きく、そう簡単に儲けられるものではないと認識し、一から勉強しようと思った次第です。」

個人投資家へのひと言アドバイス

知識が無いと、なぜその価格で買うのか、なぜその時点で売するのか、その理由を全て説明できません。説明できないということは「勘」「思惑」で売買しているということです。

●クズ客、ババ客

(富山県 KEIKO さんの失敗談)

「投資経験は長いのですが、1 銘柄をじっくり観察し安くなったところを買い、じっくり待って、年に 1 回、給与の1カ月分程稼げればいい感じの投資をしていたのです。

が、平成 15 年の初夏、ネット証券の手数料の安さに惹かれ口座開設したあたりから頻繁に取引を開始し始めました。

銘柄の数も徐々に増えていきましたが、1 銘柄の取引で 8000 円～30000 円稼いでとても満足していました。(注 * スイングトレードでもデイトレードでもありません。)特にチャートで判断したとかそういう事ではなく、なんとなく、ここいらで買っとくか・売っとくかみたいな野性的？カンで。

ところが、ある投資顧問会社の HP を見て試しに 1 銘柄買ってみたところ、短期で今までの儲けと桁が違う利益を上げさせてもらったのです。元々、確たる投資方法など無い私は、「これはすばらしい HP」と、そこが推奨する銘柄を考えもなしに買っていました。

平成 16 年の 3 月 4 日相場です。

はい、買えばなんでも上がる時期でした。5 月連休明けの怒濤の下げ。ロスカットなどルールなど確立していない私は、ただ塩漬け。

貴社の HP を見て、「自分がクズ客、ババ客」である事を認識。他人の情報で便乗買い、

仕手性に飛び乗り、飛び降り、こんな危険な手法はしちゃいけません。身をもって感じました。ただいまの損(塩漬け状態で確定していませんが・・・評価で約 170 万)私、会社員ではありますが、主婦で母です。

堅物の旦那さんには、とてもこの状況は話せません。卒倒しちゃうかも。」

個人投資家へのひと言アドバイス

塩漬け銘柄を作ってしまうと評価損の発生とともに、何年も資金を動かさない状態になるため、利益を得る機会を失っていることにもなります。

●株で1億作る！？

(新潟市 兼〇 さんの失敗談)

「ここ最近、近年の厳しい社会情勢の中、将来に対して漠然とですが非常に不安を覚えるようになりました。そんな中、今年の前半、週刊誌等で株の特集記事を多く目にするようになり、こんなに儲かるなら取り残されたらアカンと思い(マスコミがあおっていたのを鵜呑みにしただけ)数冊の書籍を購入して勉強を始めました。

6月にカブドットコム証券とSMBCフレンド証券(こちらの口座は今だ未使用)の口座を開設し取引を開始しました。

取引開始の時、特に参考にしたのが仁**著の「株で1億作る」でした。

**氏の考案した波動チャートというオリジナルなものを用いて銘柄を選定していく手法です。波動チャートはオリジナルの為、自作も可能とのことですが面倒なようなので著のホームページの会員(二ヶ月で¥3000程)に入会しました。

結局チャートは中々サインが見つけれず、ホームページ上で推奨してある銘柄を購入したところ¥20000ほど利益がでました。

しかし後に買った銘柄(自分なりに判断したものです)はジリジリ値を下げ現在も保有中です。」

個人投資家へのひと言アドバイス

実際のトレードに入る前にはできれば半年の学習期間とシミュレーション期間を用意してください。そして、書籍を読むなら最低でも30~50冊程度の知識の習得に努めてください。

●発注ミス

(鹿児島市 エポリン さんの失敗談)

「本当に初歩的なミスなのですが、パソコン操作もおぼつかない私が、3ヶ月程前、初めてネットトレードに挑戦いたしました。多少の損切りは初心者の勉強代と心に決めて、2万円程の損切りをしたつもりでした。

……ところが、100株と1000株を間違えて30万で約定したつもりが3万円で約定してしまいました。27万円の大損です。

資金の乏しいスタートだった由、とてもショックでした。今考えてみると株に何の知識もない私が、バクチのように始めてしまったことに反省しています。」

個人投資家へのひと言アドバイス

慌ててトレードを行なうと発注画面での売買の区別、売買単位、指値金額、逆指値の条件等にミスがでます。ミスはそのまま約定しても修正できません。慌てずに落ち着いて、複数回の確認後の発注を心がけましょう。

● 上がりそうという感覚で銘柄選び

(東京都港区 ぴあぴあの さんの失敗談)

「私は、〇〇社のある主婦が書いた本を読んで「私もできそう！」ととびついてしまいましたが、やはりキソがぬけていたので、適当に上がりそうという感じだけで銘柄を選び1日~3日で売買していました。

今年8月下旬からは相場全体が良かったのかネットトレーダー初心者でも損なく、ほとんど+で終わっていました。

半月して信用取引口座を設け、いざカラ売り、としかけたものの、買って一日目は+になっていたのです。

まだまだ利がでると次の日まで待っていたら、あっというまに株価は上がり-10万円となりました。

しかしここで買い戻せないと押し目で+になったらなどとたかをくくっていたら、あれよあれよという間に-50万円になり真っ青になってしまいました。

(#4007 日化成)せっかくもうかっていたのに、あっという間に-です。取り戻すべくまたカラ売り。-再び-10万。

では買おうと買うと他の株はみんな下がっているのに私の買った株だけ下がる。

カラ売りすれば上がり、買えば“下がる”。どうしてこんなものばかり選んでしまうのだろう。」

個人投資家へのひと言アドバイス

トレードを行っているとまるで誰かが自分の発注を見ているかのように買えば下がり、売れば上がることが往々にしてあります。

それは自分と相場が合っていないためなのですが、誰でもこのような期間を経て知識と経験値を積み重ねることになります。

●下げても下げても持ち続ける

(埼玉県川口市 NNM21 さんの失敗談)

「はじめまして、私の失敗談を書かせてもらいます。

その前に、私の株式への投資経験ですが、20 年以上前のことになります。

2 年間ほどの経験ですがそれ以来現在に至るまで投資は控えていました、と言うか二度と手は出すまいと考えていました。

勘頼りの投資では絶対に勝てないと考えたからです、そして株式投資で勝つセオリーなど誰も教えてくれないだろう、本など読んでも実践では通用しないと考えていたからです。

私が最後に投資した株式ですが、通常 1 株(口)の投資で(現物のみ)勝ったり負けたりを繰り返していた私ですが、その時に限り同じ銘柄を 3 株買ってしまい、また買った次の日に株式新聞の一面でとり上げられたことも手伝い、これはいけるかもしれないと思い、下げても下げても持ち続けた事です。

初歩的なミスですがその時の自分には勘と 2 年間の相場経験以外何もありませんでした。

2 年間、よく大損もせずに投資を続けられたと思います、今考えると恐ろしくなります。」

個人投資家への一言アドバイス

多くの場合テレビや新聞で好材料が出たときはそこが高値です。

もし、材料でトレードするなら素早く短期間で手仕舞いすることが大切です。

●投資スタイルの未確立

東京都墨田区 ヒロ さんの失敗談

「私は、株式投資に興味をもち、3年半位に成ります。

投資のイロハも解らず始めた為、値上がりする推奨銘柄の本で、銘柄を選びその株を、資金量が少ないのでミニ株から始めました。その株が上がるどころか高値で掴んでいる事が、判りました。その後、株価が下がってきたので株数を足して単位株にしました。その株に悪材料が発表されました。

これ以下には株価は下げないと、自分の判断でナンピンして 3 単位にしましたが、株価は下げ続け塩漬け状態に成り、最終的には損切りしました。

その後、現在に至るまで株投資の書籍を、色々購入して勉強しましたが、自分の投資スタイルを形成するに、至っていません。今までに株取引を、20 数回行いましたが、チャートのローソク足と、移動平均線が上向きの銘柄を選んで、そこそこ利益を出せる様になったのですが、日経平均が上昇している時は良いのですが、相場環境が悪くなると含み損になり、もう少し待てば値上がりするだろうと、思い込み株を持ち続けズルズルと、株価が下がってきて損切りしてしまいます。早めのロスカットが、必要と判っていても出来ない為、投資材効率を悪くしています。」

個人投資家へのひと言アドバイス

知識と経験を積み重ねることを通して、最終的には徐々に自分なりのトレードスタイル(マーケット、時間枠、手法、資金管理、リスク管理)が確立します。そこまでたどり着くことができたなら相場で儲けるためのスタートラインについてことになります。

● 知人に薦められた銘柄

(秋田県 さとぶ さんの失敗談)

「私のトレード失敗実話は、数え切れないほどあります。
今までやってきたトレード全てが失敗だったと言っても過言ではないでしょう・・・
超初心者のときの失敗談ですが、知人に
「この銘柄は絶対に上がるよ」
「10000 円は超えるからそれまで売るなよ」
などと言われてある銘柄を購入したんです。
2500 円くらいで買ってから 4000 円くらいまでは一気に上昇したんですよ。

「これで俺も大金持ちになれる」なんて頭によぎりながらずっと眺めていました。
しかし、それからまもなく下降しはじめたのです。
10000 円超えるまで売るタイミングを考えなくてもいいと思っていたので、まだ上がるのを待っていました。
私の思惑はずれて、結局下降トレンドに入り、売るタイミングも間違えて大損をしてしまいました。
(金額は忘れてしまいました・・・)
このとき、他人の意見で銘柄は選択しないようにしようと心に誓いました。
私のトレードデビューはこうして始まりました。」

個人投資家へのひと言アドバイス

銘柄選択、トレードの売買タイミングを全て他人任せにしている投資家で継続的な利益を出し続けている人は極めて少数です。
これらを他人任せにしているといつまでも小さな勝ちと大きな負けの循環を繰り返し、遂には塩漬けに向かうこととなります。

終わりに

“わたしは成功したトレーダーで自分が損したのを他人のせいにする人をみたことがない。”

「勝ったにせよ負けたにせよ、結果の責任はあなたにある。

ブローカーの助言や投資アドバイザーの推奨、あるいは購入したシステムが間違っただけのシグナルを示したからといって、それらの助言をいれ行動をとったのはあなただから、あなたが責任をとる必要がある。

わたしは成功したトレーダーで自分が損したのを他人のせいにする人をみたことがない。」

(ジャック・D・シュワッガー)

失敗を他者のせいにしてしている限り、自分が欲しい物は手に入りません。
それは自らの知恵と能力と体験を通して掴み取るものです。

本レポートで述べられている先輩トレーダーの貴重な失敗から学び、あなたは自らの力で成功を手に入れましょう。

<免責条項>

- ・ 本書の読者は、株式、先物、為替、オプションなどの取引による損失を含むすべての危険を、自己の責任として負うものとします。
- ・ 本書の情報の内容に関しては万全を期しておりますが、その内容の正確性および安全性を保証するものではありません。当該情報に基づいて読者が被ったいかなる損害についても、当社及び情報提供者は一切の責任を負いません。
- ・ 本書内でご紹介している銘柄は、「推奨銘柄」ではありません。あくまでも、トレード技術を習得するための「材料・教材用の銘柄」です。また、本書に掲載の情報は、投資の勧誘を目的としたものではありません。
- ・ 本書記載の方法やテクニックは利益をもたらすことを、保証あるいは示唆するものではありません。本書掲載の過去の事例は、必ずしもこれから先の結果を示すものでも、予測するものでもありません。
- ・ 本書で使用されているトレード例は、トレード手法やトレード理論をわかりやすく説明するために当会では運用していない銘柄のチャート図、情報も混在しています。
- ・ 本書にて提供される情報は、教育と一般的な情報提供を目的としています。教材の内容は一般的情報であり、投資アドバイスには該当しません。
- ・ 株式、為替、先物、オプションの取引にはリスクが伴います。当社は本書の情報を使った者の利益や損失の補填を保証することはできません。株式、先物、為替、オプションなどの取引には相当のリスクが伴います。取引を行う際には投資家ご自身の判断で自己責任のもとに行ってください。
- ・ 実際の投資行為に際しては、会計士、弁護士、専門的アドバイザーなど適切な専門家の意見を求めた上で自己責任のもとに注意深く行ってください。